

課題名	乳癌 Dose-dense 化学療法に関連する好中球増多
承認番号	2020-27 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部 氏名 阿部多一
研究期間	(西暦) 2020 年 11 月 ~ (西暦) 2021 年 3 月
研究の意義・目的	より安全な乳癌化学療法を患者様に提供するために、乳癌術前・術後化学療法で治療強度を高めるために治療間隔を短縮させた化学療法の dose-denseEC(エピルビシン+シクロホスファミド)→dose-densePTX(パクリタキセル)療法における、治療中の好中球数の増加の要因を検討します。
研究の方法 (対象期間含む)	2018 年 7 月~2019 年 10 月に術前または術後に dose-denseEC(エピルビシン+シクロホスファミド)→dose-densePTX(パクリタキセル)のレジメン(薬剤の種類や量、期間、手順などを時系列で示した治療計画)を施行した乳癌患者様を対象とします。治療中の好中球数の推移を検討し、薬剤の使用量や有害事象(副作用)の発現について調査します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	カルテより抽出した情報は本研究のみに使用し、学会発表等を行う際には個人情報保護のために、患者様氏名、生年月日、住所など個人を特定できる情報は公開しません。対象患者様よりデータ使用不可の申し出をいただいた場合には研究対象より除外いたします。
利用又は提供する 試料・情報の項目	性別、年齢、各サイクル開始時の好中球数、好中球数に対する発現症例数、各種生化学検査値、エピルビシンおよびシクロホスファミド、パクリタキセルの薬剤投与量、ペグフィルグラスチム投与タイミングと回数
試料・情報を 利用する者の範囲	共同研究者(住谷達也,林哲哉,井口恵美子,猪股克彦(薬剤部),清水大輔(乳腺外科))
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	薬剤部 阿部多一
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 薬剤部 氏名 阿部多一 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101